

みずほCustomer Desk Report 2022/05/19 号 (As of 2022/05/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	129.32
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	129.43	1.0553	136.59	1.2490	0.7031
SYD-NY High	129.53	1.0564	136.67	1.2501	0.7046
SYD-NY Low	128.01	1.0460	134.09	1.2330	0.6950
NY 5:00 PM	128.23	1.0461	134.12	1.2345	0.6955
NY DOW	31,490.07	▲ 1,164.52	日本2年債	-0.0600	0.00bp
NASDAQ	11,418.15	▲ 566.37	日本10年債	0.2400	0.00bp
S&P	3,923.68	▲ 165.17	米国2年債	2.6663	▲4.22bp
日経平均	26,911.20	251.45	米国5年債	2.8871	▲7.88bp
TOPIX	1,884.69	17.98	米国10年債	2.8831	▲11.03bp
シカゴ日経先物	26,310.00	▲ 535.00	独10年債	1.0090	▲4.35bp
ロンドンFT	7,438.09	▲ 80.26	英10年債	1.8640	▲1.60bp
DAX	14,007.76	▲ 178.18	豪10年債	3.4250	0.20bp
ハンセン指数	20,644.28	41.76	USDJPY 1M Vol	11.33	0.30%
上海総合	3,085.98	▲ 7.72	USDJPY 3M Vol	10.73	0.09%
NY金	1,815.90	▲ 3.00	USDJPY 6M Vol	10.33	0.15%
WTI	109.59	▲ 2.81	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	309.37	▲ 6.03	EURJPY 3M Vol	11.73	0.44%
ドルインデックス	103.81	0.45	EURJPY 6M Vol	11.30	0.18%

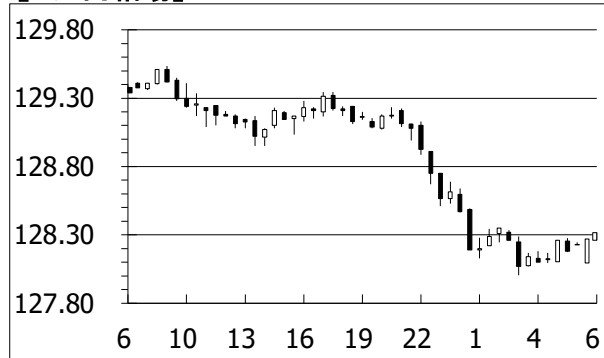
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月18日	08:50	日 GDP(前期比/前年比)・速報	1Q -1.0%/-0.2%	-1.8%/-0.4%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	3月 0.3%/-1.7%	-
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	4月 2.5%/9.0%	2.6%/9.1%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	4月 0.6%/7.4%	0.6%/7.5%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	4月 1724k/1819k	1756k/1814k
5月19日	05:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	6月,7月の会合は50bpsの利上げを予想	

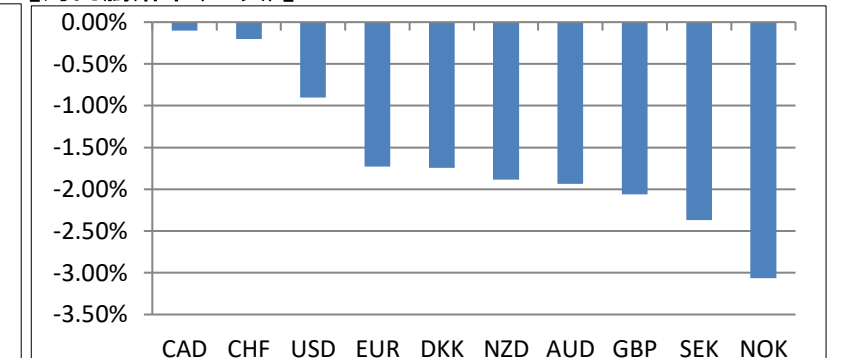
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月19日	08:50	日 貿易収支	4月 -¥1150.0b	-¥414.1b
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	4月 30.0k/3.9%	17.9k/4.0%
	20:30	欧 ECB議事要旨	-	-
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	5月 15.0	17.6
	21:30	米 新規失業保険申請件数	14-May 200k	203k
	23:00	米 中古住宅販売件数	4月 5.65m	5.77m
5月20日	05:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	127.30-128.80	1.0350-1.0500	132.50-135.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間ドル円は、129.43レベルでオープン。目立った材料がない中、米金利の動きを横目に128円台後半から129円台前半を推移すると129.17レベルで海外時間に渡った。海外時間に入り、米4月住宅着工件数や米小売大手の弱い決算を背景に、インフレによる企業業績悪化懸念が再燃すると、総じてリスクオフの展開に。クロス円主導でドル円も一時128.01まで下落。その後も上値重く推移すると、結局128.23レベルでクローズした。

本日のドル円は、軟調な推移を予想。今週に入り、リスクオフの流れが一服していたが、景気後退懸念が再燃しており、S&P500も弱気相場目前とボラティリティが再び高まっている。その為、市場ではネガティブなニュースに反応しやすくなっており、本日は景気先行指数である米4月景気先行指数や米4月中古住宅販売件数の発表に注目したい。ドル円は先週安値の127.54レベルを目線に下落すると予想する。

東京	東京時間のドル円は129.43レベルでオープン。時間外取引の米10年債利回りが低下したことやダウ先物がマイナス圏に転落する中、ドル円は128.95まで下落。しかし日経平均株価が底堅い推移をする中で、ドル円の下げ幅は限定的となり、結局129.17レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は129.17レベルでオープン。材料難の中、30銭以内の小幅推移となり、129.11レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.0529レベルでオープン。独10年債利回りが低下したことユーロドルも下落。一時は1.0495まで値を下げるも、1.0511レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は週初ドル売りが続いた反動や前日のパウエル議長のインタビューの発言が効派であったことから、ドル買いが強まる一方、欧州株、米株先物が軟調に推移するなか円買いも強まり、ドル円は上値を重くし129.11レベルでNYオープン。朝方は米4月住宅着工件数が予想を下回り、前回分も下方修正されたことや、発表された米小売大手の決算がコスト高を理由に純利益が前年同期比で52%減となったこともあり、株式市場が寄り付き後下げ幅を拡大する動きにさらに円買いが強まったことから128.13まで下落する。午後株式市場が下げ幅を拡大させる中、128.01まで下落し、その後は調整からやや買い戻されるが上値は重く、128.23レベルでクローズした。一方、ユーロドルは海外市場でレンファインラント中銀総裁やミラー・エストニア中銀総裁の効派な発言が強まる一方、欧州株が軟調に推移する動きにユーロ売りが強まり、加えてユーロ圏4月CPIがやや予想を下回ったこともあり、1.0495まで下落し、1.0511レベルでNYオープン。朝方は一旦1.0541まで戻す局面もあったものの、リスク回避からユーロ円が大幅に下落する動きにユーロドルも上値を切り下げ1.0489まで下落する。午後に入っても株式市場で下げ幅が拡大するなか上値を重く推移し、1.0460まで下落し、1.0461レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・木村